



うもかみ

1 4
2478
266



冊 44
流 2478
卷 266



こもかみ

鬮ノ叔校

乳母乃脉ニヤク者ノ滑スルみ一々力此ある様ナリ

中々也

乳亦ささるるはひくからさすきほらじつき

左右ととよはらひもやるとよりとらま

乳乃くそは概アトをふせくるましくうアト乳アトも筋アト

たなく乳小ほやあまて左乳乳の根乃る

せましく^く腎^{じん}園^{えん}よくきめ細く骨をくへぬ^ぬ
長く氣^きは免^{めん}なる^{なり}筋^{じん}が^が一と^とは
乳の^につら小く乳乃^の穴^{けつ}は^はつ^つあ^あり^りて^ては^はせ^せく
ち^ちし^しる^る筋^{じん}を^を一と^とは
首^{くび}ひ^ひき^きう^うく^くと^と前^{まへ}髪^{かみ}が^が一^一落^おく^く毛^け乃^の不^ふと^とま^ま
と^とう^う一^一と^とは
右^{みぎ}眼^{がん}乃^の木^ぎ乃^のま^ま今^{いま}ち^ちあ^あり^りあ^あり^り目^めの^の深^{ふか}き^きを^をれ^れ
乳^にう^うく^く出^でふ^ふもの^{もの}な^なり^り
是^{こゝ}乃^のか^から^らん^んた^たま^まき^きま^まつ^つた^たま^まく^くた^たら^らあ^あり^りと^とい^いふ^ふ

を^を乳^にう^うく^く出^でる^るもの^{もの}な^なり^り
乳^に母^ぼの^の脉^ぢ法^{ぽう}なる^{なる}もの^{もの}は^は悪^{あく}一^一ま^まと^と一^一の^のく^くも
法^{ぽう}を^をれ^れい^いう^う不^ふと^と乳^にう^うく^く出^でる^るを^を来^きく^く不^ふ足^{そく}く^く
る^るもの^{もの}の^の少^{すく}く^くを^を病^{びやう}た^たら^らる^るもの^{もの}な^なり^り
小便^{せうべん}頻^{ひん}數^{すう}る^るは^は乳^に乃^のう^うく^くま^まり^りと^とい^いふ^ふも^も乳^に
を^を中^{ちゆう}く^く不^ふ足^{そく}く^くる^るもの^{もの}な^なり^り
乳^に乃^の根^{こん}く^く悪^{あく}き^き垢^{あか}あ^あら^らま^まく^くは^は鼻^びれ^れ先^{さき}ま^まと^と
悪^{あく}き^き毛^けの^のあ^あか^か小^{せう}垢^{あか}阿^あ不^ふか^か毒^{どく}あ^あり^り悪^{あく}一^一
白^{はく}眼^{がん}淫^{いん}ひ^ひな^なく^く乾^{かん}ぢ^ぢの^のハ^ハ乳^に乃^のう^うく^く出^でふ^ふも^もを^を中^{ちゆう}く^く

とゆふなり
腫^い高乃女ハ乳よくおれともよくとましくなり
ものなり

生貨^い何^いきまものは乳よく出るもきこえて
濃^い一^いはあさ乳とのむく乳を必^い滞^いして
吐^い乳^いまらものなりもく是ハ氣分^い極^いるなり
ゆ^いなりま^いハ醫^い乃^い禁^いと^い屋^いと^い魚^い食^いなる
故^いなり

生貨よく乳もま^いく^い出るも^い徳^い具^いある^い志^いハ

魚一

乳よくま^いく^いは^い乳^いあり^いい^いく^い付^いたる^いあり
う^いなり^いく^いか^い乳^い乃^いもの^いい^いふ^いとも^い思^い一
乳^いあ^いさ^い大^いく^いも^い下^いす^いる^いハ^い乳^い聖^いると^いも
あ^いき^いもの^いなり^いあ^い一
乳^いく^いら^い大^いき^いなり^い乳^いよく^い出^いる^いも^い一^いを^い
欲^いく^い不^い足^いま^いる^いもの^いなり^い
乳^いよく^い出^いる^いも^いゆ^いく^いく^い一^い乳^い分^いや^いと^いなる
もの^いなり

乳と魚と取くみふふあめてまじりあり
やうに能くろあを乳とまじりてほろろろろろ
ゆるとすてく乳うとまじりてあとい
味うふかきくして乳うとまじりてうらひ
とふかきものなり

乳乃ろろろ乳母やうとも厚味とむろく合
せは乳とまじりて乳とまじりてうらひ
見れハその色うとまじりてうらひ
きろろろろはやあり是ハ厚味とまじりて淡味

乃ろ合とれ持ま人のまき乳とぬをり
乳と魚のいろくあり思申おはんとほろろ
知色ふまのなり冬ハ湯煮くろく乳と魚
ひ出ろののろろ湯煮くろて薄くをろ
ろろとれまろ湯煮めくいろほとろろ
魚とも魚乳れをれとろろろ
乳と魚とまじりていろろろろろろ
あり魚の色いろろろろろろろろ
ろろろろろありあるいろろろろろろ

何りも子乳濃くしてあ
乳うとくくろく出るといふやと肩と凝何
このややと出るとあり
乳乃もよくはあありまこいあれつるハ
魚一
湯煮ありく毛と梅やうるあをひあを
あありて大く何
味あまれき小兒とく吐乳とつものや
まこわ一志不くきとあり是ハ其乳母に

持病あり故なりあはれ付何味酸きものハ
乳あきしてあ
らあきころ乳く産らうつならとく一こ
凝あるとそのころうあくものハ何いん
はまきまきこのやう川菜をとり
乳あきとく凝あるとの多し古く乳核といふ
指くははまきやうとくつるものハ後をら
うとにたるとくあるとんんこのああり
んあしむいんこのああり

乳乃乳の色鮮美いなりやうなるはぐりとき
 悪くならしはやありを記しあ
 産乃中か一計日のあつありをさるる家
 分がう一毛一計日よりけせく倍く乳
 多むじ一やをりてあつり
 小児乃鬘るこく切あせるとありこれ乳
 らみ小児れはさしていささかあつり小児
 のうむはあをりりうはきくとあつり中にい
 乳なり是ハ乳乃乳くたう何ひて濃乳と

かむむやまのあつ

乳の乳の色を人のうまやうなるとうき
 まさ乳れしうはほらくと計日あつり
 ありあつりまきさう一産あつる後ろあつり
 ありけせくはあむまのなり倍く乳乃
 實とあつりいんまを倍しうき
 乳乃さるるはあつりうきとあつりうき
 あ
 乳れ乳のぬきあつるあつりあつりうき

ら物といはしむるものありしは列の書に
きりしはわく乳をうきとて
うらと
あ乳りる一指成入る候とありしは
やと皮肉あつきあり指列うき
悪し一皮肉りものありしは
肥れいありとく乳をうきとて
くもてありしは

了并乃君にむしりしは
くおとておとす
くもてありしは
あ乳りるものありしは
肥れいありとく乳をうきとて
くもてありしは

七
かきこ持ふは不きてよにほここはむ
正成をうらむぬこにさきた父君乃あら
はし給ひし思戒もてふ文ああをせ
てひを思書らるるようくまをくし
給由乃こらきしけ給入しものし
よいさこの書れはにらむ付るまは
るる回乃こまはらむに備ふる

